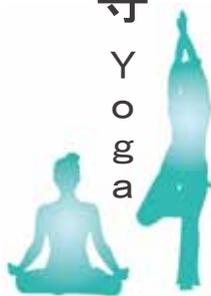


行事予告

〈新企画〉

キャンドルライト 寺 Y o g a



ヨーガは坐禅とルーツを同じくし、姿勢（アーサナ）と呼吸法（ブラーナーヤーマ）を通して心身を整える、いわば「動く禅」。そのインド古来の瞑想法と曹洞宗の坐禅（夜坐）を、キャンドルの灯が揺らめく中で体験できるイベントを企画しました。初心者でも大丈夫。どうぞ、どなたさまでもお気軽にご参加ください。

【開催概要】

日時：平成二十三年九月十九日（敬老の日）
午後七時～九時

会場：当寺・大広間 ※変更の可能性あり

参加費：五百円 定員：二十名（事前予約制・先着順）
備考：ヨガマットをお持ちの方はご持参ください。
（バスタオルでも可）

水分補給のための飲料をご持参頂いても結構です。

内容：ヨーガとミニ法話と坐禅と茶話会

講師：中島敬子先生（ヨーガ講師）

むつ市在住。田原豊道氏、桜田洋子氏、成瀬貴良氏らに師事。NHK文化センターむつ教室・青森教室講師を経て、現在むつ地域中心に活動中。

予約：八月十四日（日）より受付開始。

当寺事務所への直接訪問、電子メール・info@daianji.jp、Fax・0175-34-6426にてご予約ください。電子メール及びFaxにてご予約の際は、参加者全員のお名前、ご連絡先（電話番号・電子メールアドレス）を明記ください。二～三日以内に確認メールをお送りします。

四季彩々く大安寺自然写真館



池に咲きそろろう菖蒲と睡蓮



巖岳に沈む夕陽

坐禅会・写経会のご案内（八月～九月）

◆ 暁天坐禅会（予約不要）

一日のはじまり。自らの心のリフレッシュしませんか？
日時：九月三日（土）・九月十日（土） 午前七時～八時
※坐禅指導希望の方は、午前六時三十分集合
場所：当寺本堂 参加費：無料
服装：動きやすい服装で。スカート不可。

◆ 親子坐禅会（事前予約制） ※お土産つき

夏休み、お寺の生活を親子で体験してみませんか？
日時：八月十五日（月） 午前七時～八時半
場所：当寺本堂 内容：坐禅とおつとめと掃除とお茶
服装：動きやすい服装で。スカート不可。参加費：無料
備考：成人の方のみでも参加可能です。
※前日まで、「お名前」「人数」をご連絡下さい。
電話：0175-34-2926 Fax：0175-34-6426
電子メール：info@daianji.jp

◆ 月例写経会（予約不要）

墨とお香の香りの中、祈りのときを過ごしませんか？
日時：八月六日（土）・九月四日（日）
午後一時～三時三十分
内容：写経（般若心経・観音経等）と茶話会（参加自由）
場所：当寺中広間（変更の可能性あり）
持ち物：筆・硯・墨をお持ちいただいても結構です。
椅子席あり。
参加費：五百円

お知らせ

◆ 「大安寺定例総会」終了のお知らせ

去る六月二十五日（土）、「大安寺定例総会」が無事終了いたしました。平素より、当寺護持にご協力いただいている役員の方々に、この場を借りて感謝申し上げます。

行事カレンダー（平成二十三年八月～九月）

■ 八月十三日（土） 午後五時半より 本堂・本堂前参道にて
「迎え火萬灯会&奉納コンサート」（参加自由・献灯有料）

※詳細は、ポスター・チラシ・ホームページ・携帯サイトをご覧ください。

■ 八月十五日（月） 午後三時～五時 中広間にて
「トクサロン・縁力フェ@大安寺 第二回」（事前予約制）

心の安らぎを感じていただける、お互いの心のうちに耳を傾け、語り合う会です。お菓子とお茶をいただきながら、ワークショップ形式で行います。どうぞ、お気軽にご参加ください。（参加費：五百円）
※前日まで、「お名前」「人数」をご連絡下さい。
電話：0175-34-2926 Fax：0175-34-6426 電子メール：info@daianji.jp

■ 八月十六日（火） 午前十一時より 本堂にて
「盂蘭盆会 施食会法要」（参加自由）

有縁・無縁のありとあらゆる精霊に食を施す法要です。法要後に、住職の法話もごさいます。

■ 八月十六日（火） 午後六時～八時
「送り火萬灯会」（参加自由・献灯有料）

本堂周辺を、ささやかに燈籠の灯で彩ります。墓参の際にお立ち寄りください。（お預かりしたキャンドルを、当寺にて献灯いたします）

■ 九月二十三日（秋分の日） 午前十一時より 本堂にて
「秋季 彼岸会法要」

ご先祖さまに感謝し、自らの行いを見つめ直す期間であるお彼岸の中日に行う法要です。法要後に、住職の法話もごさいます。

編集後記

岩手県沿岸の被災地を訪ねましたが、瓦礫の山を前に絶句するばかり。その帰り道、大畑の街を見下ろす辺りに差し掛かった時、その変わらぬ街の様子を見ると、不意にこの街がキラキラと輝き、愛おしく見えました。あらためて、生まれ育った街を守り、育ててくれた人たちのために、精一杯前に進もう、そう決意しました。 〈編集担当：長岡俊成〉

次号のご案内

第十二号は平成二十三年九月十五日に発行予定です。